

# 夏のクマに注意！

梅雨の時期が過ぎて、夏はクマにとっては食物が乏しい季節ですので、ウドやフキなどの草本類やハチなど昆虫の巣を探して、広い範囲を足早に行動します。そのため、人と出会う機会も多く、人身被害の発生が懸念されます。

これから山に出かける方は、クマの被害に遭わないよう、次のことにご注意ください。

山では、「クマに出会わない」対策を実施しましょう！

今年の人身被害は、6月に起きています！

◇朝夕は山中に入らない。

・クマは朝夕に活発に動きます。

◇グループで行動する。

・山中では単独行動を避け、グループで声をかけあって活動し、クマに人の気配を伝えてください。

◇鈴、笛、ラジオなど音が出るものを携帯し、クマに自分の存在を知らせる。

・クマは聴覚や嗅覚が人より優れているため人の接近を察知し、人を避けます。

◇子グマを見たらそっと立ち去る。

・子グマの近くには必ず母グマがいます。母グマは子グマの危険を感じて人を攻撃することがあります。子グマがかわいいからと近づいたりしないでください。

◇山菜採りはほどほどに。

・ウドやウワバミソウなどの草本類、ハチ類・アリ類など昆虫を食べているものと思われま。食べ跡や足跡、糞などを見つけたら引き返しましょう。樹木にクマ剥ぎがあれば、その付近にはクマが生息していますので要注意です。

◇不測の事態に備えて。

・注意をしてもクマと近距離で出遭う場合があります。防御策として、ヘルメットの着用が頭部の被害を軽減できます。また、接近してくるクマにはクマ撃退スプレーが効果的です。山仕事などで頻繁に入山する方は携行されることを勧めます。



ツキノワグマの足跡  
(前足と後ろ足)



ツキノワグマの糞



クマ撃退スプレー



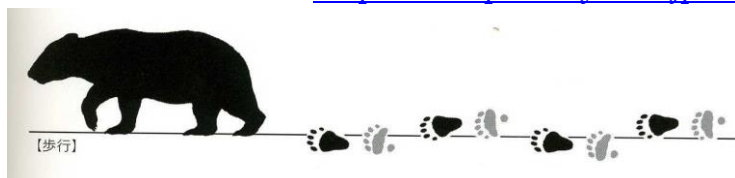
クマ剥ぎ

◆クマを目撃したり、クマの痕跡を見つけた場合は、直ちに市町村に連絡してください。

◆クマ撃退スプレーは、登山用具店で購入することができます。

◆平成 30 年 ツキノワグマの目撃痕跡情報

URL [http://www.pref.toyama.jp/cms\\_sec/1709/kj00018579.html](http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1709/kj00018579.html)



【参考文献】米田一彦（1996）「山でクマに会う方法」、米田一彦（1998）「生かして防ぐ クマの害」

今泉忠明（+平野めぐみ）（2004）「野生動物観察事典」